

整理番号	19-12	事務事業名	(高齢サービス事業) 除雪サービス事業	作成部署	保健福祉部 福祉課	電話	内線805
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H11	根拠法令等	北広島市除雪サービス事業実施要領				
" 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	高齢化の進展や核家族化の進行により、除雪を担う家族が一緒に暮らしている世帯が減少するなか、北広島市高齢者保健福祉計画の策定段階で実施した調査で、利用意向が上位となった。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	高齢者福祉	(第 5 節)
	施策	在宅福祉サービスの拡充	(第 1 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	身体的状況により除雪が困難な高齢者及び身体障がい者世帯で、市内に親族のいない低所得である世帯	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	除雪を行い、外出に必要な通路を確保する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	ひとり暮らしの高齢者または高齢者世帯で身体的状況により除雪が困難な世帯及び身体障がいのため除雪が困難な世帯で、市内に親族のいない低所得である世帯を対象に、降雪時の通路を確保するため、ボランティアなどの協力員が除雪を行う。(委託事業により実施)
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金	2,278	2,439		
	地方債				
	その他特財	753	897	940	940
	一般財源		64	2,817	2,817
	合計	3,031	3,400	3,757	3,757
人件費(概算)	人数(年間)	0.07	0.07	0.07	0.07
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	630	630	630	630
総事業費 +		3,661	4,030	4,387	4,387

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	利用世帯数	211世帯	237世帯	250世帯	250世帯
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	除雪延べ回数	2,495回	5,641回	6,000回	6,000回
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1世帯あたりコスト	17,351円	17,004円	17,548円	17,548円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等
 高齢化が進展していくなかで、介護保険制度及び支援費制度の安定的な運営のためにも、在宅での自立した生活を継続していくための施策はますます重要な役割を果たすことになる。他の市町村でも、降雪地帯の多くで行われているサービスである。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	高齢者や障がい者が在宅での自立生活を継続していくための支援は行政が関与すべきであり、在宅での生活には必要な事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	北広島市高齢者保健福祉計画の策定段階で市民への調査を実施してニーズを把握し、市民や保健福祉・医療関係者が参加した「計画策定懇談会」で議論のうえ、計画に掲げている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	委託により実施しており、他の手段は考えにくい。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	市民税非課税世帯が対象となるサービスであり、受益者に負担を求めることは考えにくい。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	身体状況から自力では除雪ができない世帯を対象としており、成果はあがっているものとする。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	ボランティアの活用を図った委託事業で実施しており、コスト節減は考えにくい。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	冬期間の外出の障害となり得る雪に対する事業であり、在宅生活を継続していくための支援として有効であることから、事業を継続していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり